

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-099749

(43)Date of publication of application : 05.04.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60
 G06F 13/00
 H04H 1/00
 H04N 7/16
 // H04N 5/76

(21)Application number : 2000-292370

(22)Date of filing : 26.09.2000

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

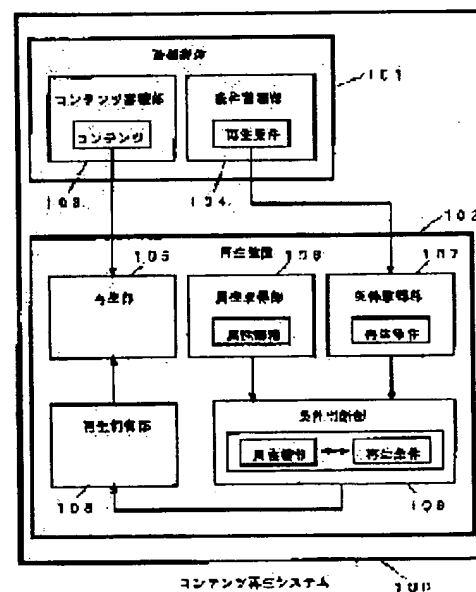
(72)Inventor : KITATORA HIROTO
 KOBAYASHI SENJU
 TANAKA YOSHIHISA
 TAKANO TETSUTARO
 GOTO YOSHIMASA
 TODA KAZUO

(54) CONTENTS REPRODUCING SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To solve the problem that whether contents accumulated in the accumulation medium of a reproducing device are reproduced or not cannot arbitrarily be controlled based on information accumulated in the accumulation medium.

SOLUTION: A contents reproducing system 100 is provided with an accumulation medium 101 having a contents accumulating part 103 accumulating the contents and a condition accumulating part 104 accumulating a reproduction condition reproducing the contents and a reproducing device 102 having a reproducing part 105 reproducing the contents accumulated in the contents accumulating part 103, an attribute acquiring part 106 acquiring attribute information, a condition acquiring part 107 acquiring the reproduction condition accumulated in the condition accumulating part 104, a condition judging part 109 judging whether attribute information which the attribute acquiring part 106 acquires is matched with the reproduction condition which the condition acquiring part 107 acquires and a reproduction control part 108 giving an instruction of reproducing the contents to the reproducing part 105 when the condition judging part 109 judges that information is matched with the reproduction condition.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 14.02.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 13.09.2005

[Kind of final disposal of application other than the
 examiner's decision of rejection or application
 converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-99749
(P2002-99749A)

(43) 公開日 平成14年4月5日(2002.4.5)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード [*] (参考)
G 0 6 F 17/60	3 0 2	C 0 6 F 17/60	3 0 2 E 5 C 0 5 2
	1 3 2		1 3 2 5 C 0 6 4
	3 3 2		3 3 2
	5 0 2		5 0 2
13/00	5 4 0	13/00	5 4 0 S

審査請求 未請求 請求項の数15 O L (全 20 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-292370(P2000-292370)

(22) 出願日 平成12年9月26日(2000.9.26)

(71) 出願人 000003821

松下電器産業株式会社
大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 北虎 裕人

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 小林 千寿

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74) 代理人 100109553

弁理士 工藤 一部

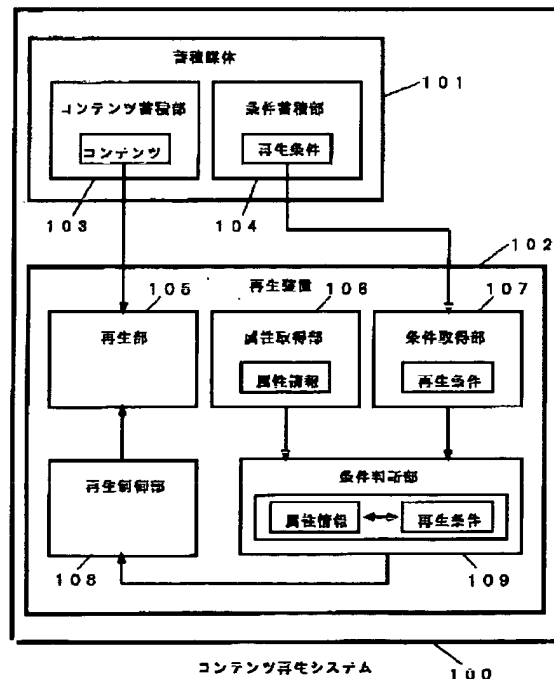
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 コンテンツ再生システム

(57) 【要約】

【課題】再生装置の蓄積媒体に蓄積されたコンテンツを再生するか、しないかの制御を蓄積媒体に蓄積された情報に基づいて任意に行うことができない。

【解決手段】コンテンツを蓄積するコンテンツ蓄積部103、およびコンテンツを再生する条件である再生条件を蓄積する条件蓄積部104を有する蓄積媒体101と、前記コンテンツ蓄積部103に蓄積されているコンテンツを再生する再生部105、および属性情報を取得する属性取得部106、および前記条件蓄積部104に蓄積している再生条件を取得する条件取得部107、および前記属性取得部106の取得した属性情報が前記条件取得部107の取得した再生条件に合致するか否かを判断する条件判断部109、および前記条件判断部109が再生条件に合致すると判断した場合に、前記再生部105にコンテンツを再生することを指示する再生制御部108を有する再生装置102とを具備するコンテンツ再生システム100とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】コンテンツを蓄積するコンテンツ蓄積部、およびコンテンツを再生する条件である再生条件を蓄積する条件蓄積部を有する蓄積媒体と、前記コンテンツ蓄積部に蓄積されているコンテンツを再生する再生部、および属性情報を取得する属性取得部、および前記条件蓄積部に蓄積している再生条件を取得する条件取得部、および前記属性取得部の取得した属性情報が前記条件取得部の取得した再生条件に合致するか否かを判断する条件判断部および前記条件判断部が再生条件に合致すると判断した場合に、前記再生部にコンテンツを再生することを指示する再生制御部を有する再生装置とを具備するコンテンツ再生システム。

【請求項2】コンテンツを再生する命令である再生命令を受け付ける命令受付部をさらに具備し、前記命令受付部が命令を受け付けた場合に、前記属性取得部が属性情報を取得し、前記条件取得部が再生条件を取得し、前記条件判断部が前記判断を行うことを特徴とする請求項1記載のコンテンツ再生システム。

【請求項3】前記属性情報が前記再生装置を識別する再生装置識別子であり、前記再生条件がコンテンツの再生を許す再生装置識別子と前記属性情報が一致するか否かであることを特徴とする請求項1または請求項2いずれか記載のコンテンツ再生システム。

【請求項4】前記条件判断部が時計を保持し、前記属性情報が時刻であり、前記再生条件が、前記属性情報である時刻がコンテンツの再生を許す時間帯または時刻か否かであることを特徴とする請求項1または請求項2いずれか記載のコンテンツ再生システム。

【請求項5】請求項1から請求項4いずれか記載のコンテンツ再生システムを構成する再生装置。

【請求項6】請求項1から請求項4いずれか記載のコンテンツ再生システムを構成する蓄積媒体。

【請求項7】コンテンツとコンテンツを再生する条件である再生条件が蓄積された蓄積媒体を再生するコンテンツ再生方法であって、属性情報を取得するステップと、再生条件を取得するステップと、前記属性情報を取得するステップで取得した属性情報が前記再生条件を取得するステップで取得した再生条件に合致するか否かを判断する条件判断ステップと、前記条件判断ステップで属性情報が再生条件に合致すると判断された場合に、コンテンツを再生するステップとを具備するコンテンツ再生方法。

【請求項8】コンテンツとコンテンツを再生する条件である再生条件が蓄積された蓄積媒体を再生するためのプログラムを記録した記録媒体であって、属性情報を取得する手順と、再生条件を取得する手順と、前記属性情報を取得する手順で取得した属性情報が前記再生条件を取得する手順で取得した再生条件に合致するか否かを判断する条件判断手順と、前記条件判断手順で属性情報が再

生条件に合致すると判断された場合に、コンテンツを再生する手順とを実行するためのプログラムをコンピュータ読み取り可能に記録した記録媒体。

【請求項9】コンテンツを蓄積するコンテンツ蓄積部、およびコンテンツを再生する場合の再生についての属性情報である再生属性情報に対する課金料を算出するための情報である課金料算出情報を蓄積する課金料蓄積部を有する蓄積媒体と、前記コンテンツ蓄積部に蓄積されているコンテンツを再生する再生部、および再生属性情報を取得する属性取得部、および前記課金料蓄積部に蓄積されている課金料算出情報を取得する課金料算出情報取得部、および前記属性取得部が取得した再生属性情報と前記課金料算出情報取得部が取得した課金料算出情報から課金料を算出する課金料算出部を有する再生装置とを具備するコンテンツ再生システム。

【請求項10】コンテンツを再生する命令である再生命令を受け付ける命令受付部をさらに具備し、前記命令受付部が命令を受け付けた場合に、前記再生部がコンテンツを再生し、前記課金料算出部が課金料を算出することを特徴とする請求項9記載のコンテンツ再生システム。

【請求項11】前記再生属性情報が再生装置の属性情報であることを特徴とする請求項9または請求項10いずれか記載のコンテンツ再生システム。

【請求項12】請求項9から請求項11いずれか記載のコンテンツ再生システムを構成する再生装置。

【請求項13】請求項9から請求項11いずれか記載のコンテンツ再生システムを構成する蓄積媒体。

【請求項14】コンテンツを蓄積するコンテンツ蓄積部と、コンテンツを再生する場合の再生についての属性情報である再生属性情報に対する課金料を算出するための情報である課金料算出情報を蓄積する課金料蓄積部と、を有する蓄積媒体の再生方法であって、前記コンテンツ蓄積部に蓄積されているコンテンツを再生するステップと、再生属性情報を取得するステップと、前記課金料蓄積部に蓄積されている課金料算出情報を取得するステップと、再生属性情報を取得するステップにおいて取得した再生属性情報と課金料算出情報を取得するステップにおいて取得した課金料算出情報から課金料を算出するステップと、を具備する蓄積媒体の再生方法。

【請求項15】コンテンツを蓄積するコンテンツ蓄積部と、コンテンツを再生する場合の再生についての属性情報である再生属性情報に対する課金料を算出するための情報である課金料算出情報を蓄積する課金料蓄積部と、を有する蓄積媒体の再生をするための記録媒体であって、前記コンテンツ蓄積部に蓄積されているコンテンツを再生する手順と、再生属性情報を取得する手順と、前記課金料蓄積部に蓄積されている課金料算出情報を取得する手順と、再生属性情報を取得する手順において取得した再生属性情報と課金料算出情報を取得する手順において取得した課金料算出情報から課金料を算出する手順

と、を実行させるためのプログラムをコンピュータ読取可能に記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【従来の技術】従来、蓄積媒体に蓄積された映画、音楽、番組、などのコンテンツを再生できるか再生できないかは、その蓄積媒体に蓄積された信号を再生装置が再生可能に読み取れるか読み取れないかで決まり、再生装置が再生可能に読み取れるのにも係わらず、これを再生しないという制御をすることはできなかった。

【0002】また、有料のコンテンツ配信は、コンテンツの内容自体によってのみ対価が定められ、そのコンテンツを視聴する再生装置の違いによって対価を変化させるということはできなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】蓄積媒体に蓄積されたコンテンツを再生するか、しないかの制御を蓄積媒体に蓄積された情報に基づいて任意に行うことができないので、種々の再生装置に対するコンテンツ配信サービスの多様化が困難である。また、従来は、コンテンツの内容自体によってのみそのコンテンツの視聴の対価が定められたので、上記の多様化したサービスが可能となってもその課金を多様化することができなかった。

【0004】

【解決手段】まず、蓄積媒体に蓄積されたコンテンツを再生装置で再生するか、しないかの制御を任意に行うための手段として、蓄積媒体に再生の対象となるコンテンツのみならず、再生の条件である再生条件をも蓄積しておく。そして、再生装置においては、再生装置がこの条件判断の要素となる属性情報が再生条件に合致するか判断する。この判断の結果、属性情報が再生条件により再生を許されるものである場合には再生が可能となり、属性情報が再生条件により再生を許されないものである場合には再生を不可能とする再生システムとする。

【0005】また、上記課金の多様化の手段として、蓄積媒体に、再生の対象となるコンテンツのみならず、再生装置が有している再生についての属性情報に応じた課金料の算出式を蓄積しておき、再生についての属性情報に応じて課金料を定めることで課金の多様化を可能とする再生システムとする。

【0006】

【発明の実施の形態】上記に述べたように、この発明は、再生装置が取得する属性情報に応じてコンテンツの再生を可能とする実施の形態と、属性情報に応じて課金の多様化を可能とする実施の形態とに大きく分けることができる。以下に、この順番に従って発明の実施の形態を説明する。なお、以下に説明するのはあくまでも一例としての実施の形態であって、この発明がこれから説明する実施の形態によって狭く限定する理由となるものではない。

【0007】（実施の形態1）まず、属性情報に応じてコンテンツの再生を可能とする実施の形態についてである。便宜上この明細書において、実施の形態1と称する。この発明は図2に示すようなコンテンツの利用形態のなかで実施される発明である。まず、受信システム201によりコンテンツが受信され、コンテンツ再生システム202の蓄積媒体204に蓄えられる。この受信システムは、インターネット、CATV、電話線、地上波、衛星波などによりコンテンツを受信するが、必ずしもこれらにかぎられず、CD、DVD、CD-RW、ビデオテープなどによってコンテンツを取得するものも受信に含む。

【0008】そして、受信したコンテンツはコンテンツ再生システム202の蓄積媒体204に蓄積される。場合によっては、受信システム201と、コンテンツ再生システム202の区別が無く、CD、DVD、CD-RW、ビデオテープなどがそのままコンテンツ再生システム202の蓄積媒体204となる場合もある。コンテンツ再生システム202の再生装置205により再生が行われ、場合によっては課金料の算定などが行われて、送信システム203によってその結果が課金センターなどに送られる。また、この送信システム203は、コンテンツの配信をするセンター側に対してコンテンツの送信要求なども行う。なお必ずしも通信線でつながってなくても良い点については受信システム201の場合と同じである。

【0009】さて、本件発明の対象はこのうちのコンテンツ再生システム202である。この図にあるようにコンテンツ再生システム202は蓄積媒体204と再生装置205とからなる。そして、この蓄積媒体204はコンテンツ再生システム202に対して取り外し不可能なものでも、取り外し可能なものでも良い。

【0010】取り外し可能とは、可搬性があり、他のコンテンツ再生システムに挿入するなどして、別のコンテンツ再生システムにおいて、蓄積媒体に蓄積されたコンテンツの再生が可能となるようなものである。これを示すのが図3である。この図にあるように、コンテンツ再生システムである、テレビ301に配置されていた蓄積媒体302は、取り外されて、別のコンテンツ再生システムであるセットトップボックス303や、カーナビゲーションシステム（カーナビ）304、パーソナルコンピュータ（PC）305、別のテレビ306、プロジェクションテレビ307において再生装置とつながることができる。

【0011】さて、コンテンツの内容がそれぞれの再生装置によって再生可能となるかどうかを以下に説明する。本発明のコンテンツ再生システムの機能ブロックを示すのが図1である。図1に示すように、本発明のコンテンツ再生システム100は、蓄積媒体101と再生装置102とからなる。蓄積媒体101とは、ハードディ

スクドライブ（以下「HDD」という。）のようなものや、ランダムアクセスメモリー（以下「RAM」という。）、リードオンリーメモリー（以下「ROM」という。）、DVD、CD、CD-RW、ビデオテープ、フロッピーディスク、その他各種の記憶媒体を構成要素とする。再生装置102は、蓄積媒体101に蓄積されたコンテンツの内容を再生する機能を有し、蓄積媒体101に含まれる信号を画像信号、音声信号、データ信号などにして視聴可能とする。ディスプレイやスピーカーを含む構成でも、含まない構成でも良い。また、再生装置102は、蓄積媒体101に含まれているコンテンツの再生可否の判断をも行う。

【0012】図1を用いて本発明の実施の形態を説明する。蓄積媒体101はさらにコンテンツ蓄積部103と条件蓄積部104を有する。また、再生装置102は、再生部105、属性取得部106、条件取得部107、条件判断部109、再生制御部108を有する。蓄積媒体101のコンテンツ蓄積部103は、コンテンツを蓄積する。コンテンツとは前述のように、映画、音楽、番組、データなどを内容とする。また、場合によっては、アンケート、投票を行わせるためのものであったり、宣伝広告や、宣伝広告のためのホームページが格納されているサーバ装置へ通信をするためのプログラムであったりする。

【0013】また、蓄積媒体101の条件蓄積部104はコンテンツの再生条件を蓄積している。再生条件とは、再生を許可する時間の長さ、時刻、時間帯、再生を許可する装置の種類、装置のメーカー、再生を許可する装置のおかれている部屋などがある。また、再生装置の置かれている地方、地域、国などを条件とすることもでき、この場合には通信回線につながれた端末を識別する識別符号や、電話番号で判断できる。また、装置の所有者、配信のための契約状況、その装置の所有者の家族構成、年齢、性別、その日の天候、気温、湿度、などにより再生の許可、拒否を制御するための情報である。年齢、性別に関して成人にのみ視聴を許可する番組や、女性にのみ視聴を許可する番組などがあるからである。また、その日の天候などにより例えば、屋外の遊園地に関する情報の視聴を許可したり、山登りに関する案内情報を許可しなかったりする。

【0014】再生装置102の再生部105は、蓄積媒体101のコンテンツを再生するための機能を有する。これは、コンテンツ蓄積部103から得た信号を映像信号、音声信号に変換し、ディスプレイやスピーカーから出力して視聴可能とする。再生装置102の属性取得部106は属性を取得する。属性とは、前述の再生条件を満たすか満たさないかを判断する対象となる要素である。即ち、再生を要求する時間の長さ、時刻、時間帯、再生を要求する装置の種類、装置のメーカー、装置のおかれている部屋、地方、地域、国、装置の所有者、配信

のための契約状況、その装置の所有者の家族構成、年齢、性別、その日の天候、気温、湿度、などの情報である。属性の取得は再生装置自体に予め記憶している属性を取得する場合の他、視聴者がそのコンテンツを再生するために入力するなどして与えるものや、受信システムを介して取得するものなどがある。

【0015】属性取得部106をさらに詳しく説明したのが図4である。図4に示すように属性取得部400はさらに属性受信手段401、属性保持手段402、属性情報送出制御手段403、属性情報送出手段404からなっている。属性受信手段401は、再生装置に保持されている属性情報を受信したり、視聴者が入力する属性情報を受け付けたり、通信回線などを通じてコンテンツ再生システムにつながって受信システムが受信した属性情報を取得する。属性受信手段401が受信した属性情報は属性保持手段402にいったん保持され、属性情報送出制御手段403からの制御命令によって属性情報送出手段404から送出される。

【0016】図1に示すように、再生装置102の条件取得部107は、コンテンツ再生システム100の蓄積媒体101から再生条件を取得する。再生装置102の条件判断部109は属性取得部106から属性情報を取得し、また、条件取得部107から再生条件を取得し、取得した属性情報が再生条件により許容されるかを判断する。許容されると判断された場合には再生制御部108に再生のための信号を送り、許容されないと判断した場合には再生制御部108には再生のための信号を送らないか、または再生が既に行われている場合にはその再生を中止するために必要な信号を送る。再生制御部108は条件判断部109からの再生制御の信号を受けて、その信号に従って再生部105の再生を制御する。

【0017】この制御の流れを図でもって示すのが図5、図6、図7である。図5はコンテンツ再生システムA(500)から蓄積媒体をコンテンツ再生システムB(501)に移し替えた様子を示すものである。コンテンツ再生システムA(500)においては、蓄積媒体01(502)と再生装置503があり、蓄積媒体01(502)にはコンテンツ蓄積部506にコンテンツC1が蓄積されており、蓄積媒体01(502)の条件蓄積部507には再生条件の情報として、再生装置503の属性取得部508から与えられる属性情報がAAかBBである場合に再生を認めることを内容とする情報が記録されている。

【0018】コンテンツ再生システムA(500)においては、再生装置503の属性取得部508が取得した属性は属性AAなので、コンテンツC1の再生は行われる。そして、このコンテンツC1を含む蓄積媒体01(502)をコンテンツ再生システムB(501)に移し替えて、コンテンツ再生システムB(501)を蓄積媒体01(504)と予めコンテンツ再生システムに備

えられていた再生装置505とによって構成する。

【0019】そうすると、蓄積媒体01(502)に含まれていた再生条件は変化していないので、属性AAまたはBBに合致する属性を再生装置505の属性取得部511が取得していないと再生が許可されないが、コンテンツ再生システムB(501)に予め組み込まれていた再生装置505の属性取得部511が取得した属性情報は属性CCなので、蓄積媒体01(504)の条件蓄積部510に蓄積されていた再生条件によって許容されるものでなく、このコンテンツC1の再生は、コンテンツ再生システムB(501)においては許可されない。

【0020】しかし、図6に示すように、コンテンツ再生システムA(属性AAを属性取得部608が取得している再生装置603を含むもの)(600)の蓄積媒体01(602)のコンテンツ蓄積部606に含まれているコンテンツと条件蓄積部607に蓄積されている再生条件が同じでも、コンテンツ再生システムB(601)の再生装置605の属性取得部611が取得した属性がBBである場合には、コンテンツ再生システムB(601)に移された蓄積媒体01(604)の条件蓄積部610に蓄積されている再生条件により再生が許容される範囲なので、蓄積媒体01(604)に含まれているコンテンツ蓄積部609のコンテンツC1の再生が可能となる。

【0021】以上では、コンテンツ再生システムの蓄積媒体を他のコンテンツ再生システムに移し替える場合について説明した。図7では、コンテンツの再生条件が時刻である場合について説明する。この例ではコンテンツ再生システム700の蓄積媒体701は固定されたままで、コンテンツ蓄積部703にはAという識別子で識別される料理番組が蓄積されている(705)。また、同じくこの蓄積媒体701には条件蓄積部704に再生条件として、Aという識別子で識別される再生条件として時間帯が15:00から17:00という情報が蓄積されている(706)。一方、再生装置702の方は、再生部707、属性取得部708、条件取得部709、条件判断部711、再生制御部710からなり、条件取得部709は、蓄積媒体701から再生条件として識別子Aで識別される条件706を取得する。この条件とは先ほど述べたとおり、再生の時間帯として15:00から17:00が許容時間であることを示す情報である。また、属性取得部708は属性情報として、現在時刻を15:30として取得する。これは、再生装置702に含まれている時計や、コンテンツ再生システム700に対して受信システムから与えられる時間情報などに基づいて取得する。このコンテンツの再生条件と属性情報は条件判断部711に送られて、属性情報が再生条件により許容されるものか判断される。この例では、再生開始を許容する時間としての再生条件は、15:00から17:00であり、再生のために属性取得部708がえた

現在時刻は15:30なので、再生条件を満たす。

【0022】したがって、条件判断部711は再生を許可し、再生制御部710に再生部707により蓄積媒体701に含まれているコンテンツ705である料理番組を再生するための命令を与える。この命令に基づいて、再生部707は料理番組の再生を行い、視聴者が料理番組を視聴することが可能となる。なお、料理番組を見るための一連の手続きは、このコンテンツを視聴したい視聴者がコンテンツ再生システム700に対して再生の命令を与えて開始するものでも良いし、コンテンツ再生システム700の蓄積媒体701にコンテンツ705と再生条件706が蓄積されたことにより自動的に開始されるものでも良い。後者の場合には、例えば、夕方の食事の準備をはじめる時間帯になると自動的にテレビに料理番組が放映されるというような利用が可能となり便利である。

【0023】(実施の形態2)次に、再生システムが蓄積媒体と、再生装置と、命令受付部とからなる発明の実施の形態について説明する。便宜上実施の形態2とする。この発明のコンテンツ再生システムは、図8に示す機能ブロックを有するものである。このコンテンツ再生システム800は、蓄積媒体801と、命令受付部814と再生装置802とからなる。先に説明した実施の形態と異なる点は、コンテンツ再生システムに命令受付部814が付加されている点である。蓄積媒体801はコンテンツ蓄積部803と条件蓄積部804とからなり、コンテンツ蓄積部803には、コンテンツ805が蓄積されており、条件蓄積部804には再生条件806が蓄積されている。再生装置802は、条件取得部809、属性取得部808、条件判断部811、再生制御部810、再生部807からなる。実施の形態2に含まれるこれらの部分の基本的な働きは前述の発明の実施の形態1と同じである。相違点のみ強調して説明すると、命令受付部814は、コンテンツ805を再生する命令である再生命令806を受け付ける。再生命令806は、視聴者が入力するものであっても良いし、受信システムなどを通じて受け付けるものであっても良い。そして、属性取得部808、条件取得部809、条件判断部811は、この命令受付部814が命令を受け付けた場合に属性を取得し、条件を取得し、判断を行う。命令は、直ちにコンテンツ805の再生を開始するという要求であっても良いし、一定時間後にコンテンツ805を再生するという要求であってもよい。いずれにしても、命令受付部814がコンテンツ805を再生する命令である再生命令806を受け付けてから一連の条件判断に関しての処理がはじまる。そうすると命令に応じて処理を開始できるので便利である。

【0024】この発明の処理の流れの一例を示すのが、図9である。図9に示すように、命令の受付のための入力があるまで待機し(ステップS901)、入力がある

と命令の受付を行い(ステップS902)、ついで属性情報を取得する(ステップS903)。さらに再生条件を取得し(ステップS904)、属性情報が再生条件と合致するか判断する(ステップS905)。合致すると判断された場合にはコンテンツの再生が開始され(ステップS906)、属性情報が再生条件に合致しないと判断された場合には、コンテンツの再生を行わないで処理を終了する。

【0025】なお、この処理の流れを実行するハードウェアの構成は必ずしも図8に示したものにすぎず、許容されるすべての構成が採用できる。つまり再生命令の受付、属性情報の取得、再生条件の取得、属性情報が再生条件に合致するかの判断は、再生システムに具備している再生装置によって行っても良いし、蓄積媒体の機能によって行っても良いし、命令受付部の機能によって行っても良いし、これら以外の部分、ないしは、再生システム以外の受信システム、送信システム、その他で行っても良い。

【0026】(実施の形態3)さらに、実施の形態1または実施の形態2における属性情報が再生装置を識別する再生装置識別子である実施の形態3について説明する。この実施の形態も基本的に実施の形態1または実施の形態2で説明したコンテンツ再生装置と同じ構成をもっている。即ち、図10に示すように、このコンテンツ再生システム1000は、蓄積媒体1001と再生装置1002とから、または、図示しないがこれに加えて命令受付部とからなる。蓄積媒体1001は、コンテンツ蓄積部1003と条件蓄積部1004とからなり、コンテンツ蓄積部1003には、コンテンツ1010が蓄積されている。条件蓄積部1004には再生条件が蓄積されており、再生条件がコンテンツの再生を許す再生装置の識別子である点に実施の形態1または実施の形態2との相違点がある。

【0027】そして、再生装置1002は、再生部1005、属性取得部1006、条件取得部1007、条件判断部1009、再生制御部1008とからなり、これらの基本的な機能も実施の形態1または実施の形態2と基本的に同じである。ただし、条件取得部1007は、蓄積媒体1001の条件蓄積部1004から再生条件としてのコンテンツの再生を許す再生装置識別子1011を取得し、また、属性取得部1006は属性情報として再生装置識別子1012を取得する。そして、条件判断部1009では、属性情報によって得られた再生装置識別子がコンテンツの再生を許す再生装置識別子であるか判断する。その判断の結果、再生を許す識別子であれば再生制御部1008に再生のための信号を送り、再生を許さない識別子であれば、再生制御部1008には再生のために必要な信号を送らない。これにより、蓄積媒体1001に蓄積されている再生条件によって、コンテンツ蓄積部1003に蓄積されているコンテンツ1010

の再生を制御することが可能となる。

【0028】再生装置識別子は、再生装置をユニークに識別するものであっても良いし、これとは別にあるいはユニークな識別番号とともに、図11に示す他の情報を含むものであっても良い。例えば、その再生装置の所有者、許容される通信プロトコルの種類、再生装置の種類(例えば、DVD再生装置、CD再生装置、RAM再生装置など)、再生装置の設置場所、再生装置の製造年月日などの情報である。

【0029】(実施の形態4)つぎに、条件判断が時刻との関係で行われる場合について説明する。この発明の実施の形態の特徴点は、条件判断部が時計を保持し、情報属性が時刻であり、再生条件が情報属性である時刻がコンテンツの再生を許す時間帯または、時刻か否かを判断する点である。この発明の実施の形態4の機能ブロックを示すのが図12である。

【0030】この図に示すように、コンテンツ再生システム1200の基本的な機能構造は、実施の形態1または2に記載されたものと同じである。即ち、コンテンツ再生システム1200は、蓄積媒体1201と、再生装置1202とからなり、蓄積媒体1201は、コンテンツ蓄積部1203と条件蓄積部1204とからなる。このコンテンツ蓄積部1203には、再生装置1202にて再生するためのコンテンツが蓄積されていて、条件蓄積部1204には、再生条件が蓄積されている。再生装置1202は、再生部1205、属性取得部1206、条件取得部1207、条件判断部1209、再生制御部1208からなる。条件判断部1209は時計を保持し、属性取得部1206で取得される属性情報は時刻であり、再生条件が属性情報である時刻がコンテンツの再生を許す時間帯または時刻か否かである点に特徴がある。条件判断部1209が時計を保持するとは、条件判断部1209そのものに時計を保持している場合と、時計自体は条件判断部1209内になくて、外部から時計の信号を受け取る場合の両者を含む趣旨である。例えば、コンテンツ再生システムがBGM(バックグラウンドミュージック)を流す機能を備えている場合に、クリスマス向けのBGMはクリスマスが近づいてきたときのみ流れるように条件蓄積部1204の再生条件に記録されていて、属性取得部1206で取得した時刻がクリスマスに近いこと、例えば、クリスマスの2週間前など、になったときのみ、BGMとしてクリスマスソングを流すようにすることができるので便利である。

【0031】また、この時刻は、年、月、日、時、分、秒のすべてでもこれらの一部でも良く、また単なる時刻情報のみでなく、その年の春分の日など暦に関する情報を含むものでも良い。

【0032】(実施の形態5 その一)次に、これまで述べてきたコンテンツ再生システムのサブコンビネーションについても説明する。これを実施の形態5とする。

実施の形態5は実施の形態1から4までのコンテンツ再生システムを構成する再生装置である。図13のものは、実施の形態1の再生装置1300に対応するものである。即ち、再生部1301と属性取得部1302と条件取得部1303と条件判断部1305と再生制御部1304とからなり、再生部1301はコンテンツを取得し、条件取得部1303は再生条件を取得し、この条件取得部1303が取得した再生条件と、属性取得部1302が取得した属性情報とで、条件判断部1305が判断を行う。

【0033】この判断は、属性情報が再生条件によって許容されるかどうかについての判断である。この条件判断部1305において属性情報が再生条件により許容されるものであると条件判断部1305から再生制御部1304に再生のための信号が送られ、再生部1301が取得したコンテンツが再生される。この実施の形態では、コンテンツと再生条件とを再生装置1300が取得することで再生の判断のための処理をおこなうが、コンテンツと再生条件とは、必ずしも同じ蓄積媒体から取得するものでなくとも良く、例えば、コンテンツは蓄積媒体から取得し、再生条件は受信システムから取得するような構成でも良い。

【0034】(実施の形態5 その二) 次に、実施の形態2に対応する再生装置について説明する。この実施の形態の再生装置は、図14に示す機能ブロックからなるもので、基本的に実施の形態5のその一のものと同じである。即ち、この再生装置1400は、再生部1401、属性取得部1402、条件取得部1403、条件判断部1405、再生制御部1404からなる。そして、再生部1401はコンテンツを取得し、条件取得部1403は再生条件を取得する。この実施の形態の特徴点は、属性取得部1402における属性情報の取得、条件取得部1403における再生条件の取得が、命令を受けてから行われる点で、実施の形態5のその一のものは、命令の無い場合でも再生のための一連の処理が行われる構成となっている。

【0035】(実施の形態5 その三) つぎに実施の形態3に対応する再生装置について説明する。この実施の形態の再生装置は、図15に示すものである。この再生装置1500も基本的な構成は、実施の形態5のその一、その二と同じであり、再生部1501、属性取得部1502、条件取得部1503、再生制御部1504、条件判断部1505からなっている。再生部1501はコンテンツを取得してこれを再生し、条件取得部1503は再生条件を取得して、属性取得部1502が取得した属性情報とで条件判断部1505の判断のためにこれを渡す。この発明の実施の形態の特徴点は、再生条件がコンテンツの再生を許す再生装置識別子である点である。したがって、属性取得部1502で取得する属性情報も再生装置識別子である。この両方の識別子を条件判

断部1505に与え、属性取得部1502で取得した属性情報である装置識別子が、再生条件により許容されるものか判断される。

【0036】(実施の形態5 その四) 次に実施の形態4に対応する再生装置について説明する。この実施の形態は図16に示すようなもので、基本的には実施の形態5のその一からその三に記載したものと同じである。この再生装置1600も、再生部1601、属性取得部1602、条件取得部1603、再生制御部1604、条件判断部1605からなる。再生部1601はコンテンツを取得し、条件取得部1603は再生条件を取得する。この実施の形態の特徴点は、条件判断部1605で判断する再生条件が、コンテンツの再生を許す時間または時刻である点である。したがって、条件判断部1605が時計を保持しており、その時計に基づいて属性情報が作られ、条件取得部1603が取得した再生条件との合致が判断される。属性情報に含まれる時刻が再生条件を満たすものである場合には、条件判断部1605から再生制御部1604に再生のための信号が送られ、再生部1601においてコンテンツの再生が行われる。

【0037】(実施の形態6 その一) つぎに、実施の形態1から実施の形態4までに記載したコンテンツ再生システムを構成する蓄積媒体の発明について説明する。この蓄積媒体は、図17に示すようなもので、コンテンツ蓄積部1701と条件蓄積部1702とからなる。前述のように、蓄積媒体1700は各種のものが許される。蓄積媒体1700のコンテンツ蓄積部1701、条件蓄積部1702は、いわゆるディレクトリのようなものである。コンテンツを再生するための信号と、コンテンツの再生条件について規定する再生条件とが所定のディレクトリに記録されており、それぞれ必要に応じてコンピュータ読取可能に記録されている。

【0038】また、条件蓄積部1702に蓄積されている再生条件は、再生条件をこれ単独で記述しているもののみならず、ここに記述された再生条件と、例えば、再生装置に含まれている情報などを利用して条件判断ができるものの両方を含む趣旨である。コンテンツ蓄積部1701と条件蓄積部1702とは、必ずしも一つの媒体に一体的に記録されている必要はなく、関連付けられていれば同図b)に示すように、二つ以上の媒体1703、1704に分けて記録されていても良い。また、二つ以上に分けて記録されている場合には、それら二つの媒体1703、1704が同種類の媒体である必要もなく、異なる種類の媒体に記述されているものであっても良い。これについては、この後に説明する実施の形態6のその二からその四までに共通である。

【0039】(実施の形態6 その二) 実施の形態2では再生装置の命令受付部が再生命令を受け付けたときのみ再生のための一連の処理が開始されるが、再生装置の命令受付部が再生命令を受け付けたときのみ再生条件

を再生装置に読み込ませることができるようなプログラムや、その再生命令に基づいて再生装置からコンテンツの転送の要求があったときのみコンテンツを再生装置におくためのプログラムなどを蓄積媒体にコンピュータ読取可能に記録しておいてもよい。

【0040】(実施の形態6 その三) 実施の形態3のコンテンツ再生システムに対応する蓄積媒体について説明する。図18にあるように、この蓄積媒体1800は、コンテンツ蓄積部1801と条件蓄積部1802とからなり、条件蓄積部1802に蓄積されている再生条件は、コンテンツの再生を許す再生装置識別子を規定したものである。蓄積媒体1800に蓄積されたコンテンツの再生を所定の装置にのみ限定することができる蓄積媒体が実現する。なお、コンテンツの再生に関して、再生装置の条件判断部でコンテンツの再生を許容する判断が出た場合に、蓄積媒体のコンテンツを読み取るための暗号が解除される再生装置にして、その暗号化したコンテンツを蓄積媒体1800に記録しておいても良い。暗号化の構成については実施の形態6の全体にわたって共通である。

【0041】(実施の形態6 その四) 実施の形態4のコンテンツ再生システムに対応する蓄積媒体について説明する。図19にあるように、この蓄積媒体1900は、コンテンツ蓄積部1901と条件蓄積部1902とからなり、条件蓄積部1902に蓄積される再生条件がコンテンツの再生を許す時間帯または時刻を規定するものである。なお、以上に述べた蓄積媒体1900の条件蓄積部1902に蓄積される再生条件は、固定のものであっても良いし、受信システムなどを通して、定期的にまたは不定期に書き換えられるものであっても良い。

【0042】(実施の形態7 その一) 次に、コンテンツとコンテンツを再生するための再生条件が蓄積された蓄積媒体を再生するコンテンツ再生方法について説明する。この発明の再生方法の処理の流れを示すのが図20および図21である。まず、図20に示す再生方法について説明する。この処理の流れを示す図にあるように、コンテンツの再生のための入力があるまで待機し(ステップS2001)、コンテンツの再生のための入力があると属性情報を取得し(ステップS2002)、ついで、再生条件を取得し(ステップS2003)、属性情報が再生条件に合致するか、即ち、属性情報が再生条件によって再生を許容されるものかどうかの判断を行う(ステップS2004)。

【0043】判断の結果、再生を許容されるものである場合には、コンテンツを再生し(ステップS2005)、再生を許容するものでない場合には処理を終了する。この発明では、属性情報の取得、再生条件の取得、属性情報が再生条件に合致するかの判断などは、必ずしも再生装置内で行う必要はなく、コンテンツ再生システム、受信システム、送信システム、その他の部分のどこ

で行っても良い。この点は、次に説明する実施の形態7のその二でも同様である。

【0044】(実施の形態7 その二) コンテンツを再生するための再生条件が蓄積された蓄積媒体を再生するコンテンツ再生方法の他の実施の形態を説明する。この発明の方法の処理の流れを示すのが図21である。図21にあるように、まず、コンテンツの再生のための入力があるまで待機し(ステップS2101)、入力があると属性情報を取得し(ステップS2102)、ついで再生条件を取得し(ステップS2103)、さらに属性情報が再生条件に合致するか判断される(ステップS2104)。判断の結果合致する場合には、コンテンツを再生し(ステップS2105)、合致しない場合には、再度判断するかを判定し(ステップS2106)、再度判断すると判定された場合には、再度属性情報の取得から処理を繰り返す。再度判断しないと判定された場合には、処理を終了する。この実施の形態の場合には、再度判断すると判定される場合には、繰り返し属性情報が再生条件に合致するか判断されつづけるので、属性情報が時間の経過とともに変化する可能性などがある場合には、その属性情報が再生条件に合致した時点でコンテンツの再生が直ちにできるというメリットがある。

【0045】(実施の形態8) なお、以上の処理をコンピュータに行わせるためのプログラムをコンピュータ読取可能な記録媒体に記録しておくことと便利である。この実施の形態は、コンテンツとコンテンツを再生する条件である再生条件が蓄積された蓄積媒体を再生するための記録媒体であって、属性情報を取得する手順と、再生条件を取得する手順と、前記属性情報を取得する手順で取得した属性情報が前記再生条件を取得する手順で取得した再生条件に合致するか否かを判断する条件判断手順と、前記条件判断ステップで属性情報が再生条件に合致すると判断された場合に、コンテンツを再生する手順とを実行するためのプログラムをコンピュータ読み取り可能に記録した記録媒体である。記録媒体の種類は可搬性のものであるか、固定のものであるか、再生専用のものか、書き換え可能なものか、磁気記録のものか、光磁気記録のものかなど問わない。また、この記録媒体は、通信によりコンピュータの蓄積媒体に記録されるものも含む趣旨である。

【0046】(実施の形態9) 上記には、再生装置が取得する属性情報に応じてコンテンツの再生を可能とする実施の形態について説明してきたが、ここからは、属性情報に応じて課金の多様化を可能とする実施の形態について説明する。図24に示すのは、この発明の機能ブロック図である。このコンテンツ再生システム2400は、蓄積媒体2401と再生装置2402とからなり、蓄積媒体2401はコンテンツ蓄積部2403、課金料蓄積部2404からなり、再生装置2402は、再生部2405、属性取得部2406、課金料算出情報取得部

2407、課金料算出部2408からなる。

【0047】図22に記載するものは、この発明の実施の形態をさらに具体的に示す機能ブロックである。蓄積媒体2201のコンテンツ蓄積部2203には、コンテンツが蓄積されており、課金料蓄積部2204には課金料算出情報が蓄積されている。例えば、この図に示す例においては、コンテンツとして識別子Cで識別される映画が蓄積されており、課金料算出情報としては識別子Cで識別されるコンテンツの再生について、日本語再生の場合には基本料金100円、字幕再生の場合には基本料金200円、コンテンツの再生時間は2時間という情報が記録されている。再生装置2202の課金料算出情報取得部2207においては、上記蓄積媒体2201に蓄積された課金料算出情報が取得される。また、再生装置2202の属性取得では、再生属性情報として日本語再生が取得される。日本語再生とは、再生部2205がこのコンテンツである映画を日本語で再生することをいう。再生属性情報とは、コンテンツの属性以外の再生の属性をいう。

【0048】例えば、再生装置識別子、再生装置の種類、時刻、時間帯などである。属性取得部2206で取得された再生属性情報と、課金料算出情報取得部2207で取得された課金料算出情報とは、課金料算出部2208に送られて課金料の算出に利用される。例えば、課金料の算出式がこの図にあるように、基本料金+再生時間×100円である場合には、基本料金が日本語再生という再生属性情報に基づいて100円となり、再生時間は2時間であるので、 $100円 + 2時間 \times 100円 = 300円$ となる。具体的に再生属性情報としては図23に示すようなものが考えられる。再生装置識別子として、例えば全世界的に再生装置を一に特定するためのユニークな識別番号や、再生装置の種類を識別するためのものでデジタルテレビ、ハイビジョンテレビなどと識別するためのものや、時刻、時間帯、画像再生方法、音声再生方法、その他の付加機能の利用を識別するためのものなどである。

【0049】この発明により、コンテンツの内容などの属性でなく、コンテンツを再生する際に付加される種々のサービスに応じて多様に料金を定められるので、サービスの多様化に応じた多様な課金ができる。例えば、再生属性の示す再生の時間帯が早朝なのか、ゴールデンタイムなのかで課金料に差を設けることができる。また、再生の言語によっても課金料に差を設けたり、映像に現われた商品の解説などの付加的サービスに応じて課金料の差を設けることができる。

【0050】(実施の形態10)次に、実施の形態9の発明にさらにコンテンツを再生する命令である再生命令を受ける命令受付部を有するコンテンツ再生システムについて説明する。この発明の実施の形態のコンテンツ再生システムの機能ブロックを示すのが図25である。こ

の図に示すように、このコンテンツ再生システム2500は、蓄積媒体2501と、再生装置2502と、命令受付部2503とからなる。蓄積媒体2501には、コンテンツ蓄積部2504と課金料蓄積部2505とがある。

【0051】再生装置2502には、再生部2506、属性取得部2507、課金料算出情報取得部2508、課金料算出部2509がある。実施の形態10と異なる点は、命令受付部2503を有し、この命令受付部2503がコンテンツを再生する命令である再生命令を受け付ける。この再生命令は、コンテンツ視聴者が命令受付部2503に入力するものであっても良いし、受信システムなどを通じて入力されるものであっても良い。この命令受付部2503に命令が受け付けられると、再生部2506がコンテンツを再生し、課金料算出部2509が課金料を算出する。この課金料の算出結果は、送信システムなどを通じて課金センターのようなところへ送信されても良いし、課金センターのようなところからの要求に応じて課金料の算出結果を送信しても良い。なお、課金料の算出は、金額まで算出するものの他、金額までは算出しないが、算出の途中までの計算を行った結果を出すものでも良い。

【0052】図26はこの実施の形態の処理の流れを示すものである。まず、再生命令があるまで待機し(ステップS2601)、再生命令があると、コンテンツを再生し(ステップS2602)、再生属性情報を取得し(ステップS2603)、ついで、課金料算出情報を取得し(ステップS2604)、再生属性情報と課金料算出情報から課金料を算出する(ステップS2605)。この発明のように再生命令を受けてから課金料を算出するようにすると、再生命令に応じた課金料算出情報を課金料の算出に利用できるのでサービスの多様化に対する課金料算出の多様化が可能となって便利である。例えば、再生命令の受付の時間帯に応じて課金料算出情報を選ぶことなどが可能となる。

【0053】(実施の形態11 その一 その二)つぎに、実施の形態9、実施の形態10の再生属性情報が再生装置の属性情報である場合について説明する。この発明の実施の形態を示すのが図27および図28である。実施の形態10に示したコンテンツ再生システムの再生属性情報が再生装置の属性情報である場合を示す図27を見れば解るように、このコンテンツ再生システム2700は、蓄積媒体2701と再生装置2702とからなり、蓄積媒体2701はコンテンツ蓄積部2703と課金料蓄積部2704とからなる。また、再生装置2702は、再生部2705、属性取得部2706、課金料算出情報取得部2707、課金料算出部2708とからなる。この図に示すように、属性取得部2706によって取得されるが、再生属性情報が再生装置2702の属性情報である点に特徴がある。

【0054】この再生属性情報である再生装置2702の属性情報は、図29に示すようなものである。例えば再生装置の種類、画面サイズ、設置場所、機能などであり、場合によっては、その再生装置のメーカー、再生装置に部品を供給しているメーカーなどである。

【0055】例えば、再生装置に部品を供給しているメーカーのスポンサーである番組は、そのメーカーの部品が組み込まれている再生装置では安い料金で視聴できるようにすることができるなど便利である。図28に示すのは、実施の形態10の再生属性情報が再生装置2802の属性情報であるコンテンツ再生システム2800を示すものである。コンテンツ蓄積部2803に蓄積されているコンテンツが再生部2805に送られて再生される点などは共通するが、実施の形態11のその一との相違点は、コンテンツ再生システム2800が、蓄積媒体2801、再生装置2802のほかに命令受付部2809を備えている点である。この命令受付部2809は再生命令を受け付け、再生装置2802に信号を送ることで、再生装置2802の属性取得部2806に再生属性情報である再生装置2802の属性情報を取得させ、課金料算出情報取得部2807に蓄積媒体2801から課金料算出情報を取得させ、これら再生属性情報と、課金料算出情報とで課金料算出部2808において課金料を算出させる。

【0056】この実施の形態では、再生命令によって課金処理のための一連の処理が行われるので、たとえば、再生装置の属性情報が飲食店内に設置された再生装置であることを示す場合には、再生命令の受付時間が飲食時間帯に課金料算出情報を課金料が高額になるように、そうでない時間帯に低額に設定することなどが可能となって便利である。

【0057】(実施の形態12 その一からその四) 次に、実施の形態9から11のコンテンツ再生システムの再生装置について説明する。図30、図31に示すのは、それぞれ実施の形態9および10に示すコンテンツ再生システムの再生装置である(実施の形態12 その一、その二)。図30に示すように、このコンテンツ再生システムの再生装置3000は、再生部3001、属性取得部3002、課金料算出情報取得部3003、課金料算出部3004からなる。再生部3001はコンテンツを取得し、これを再生し、課金料算出情報取得部3003は課金料算出情報を取得する。コンテンツと課金料算出情報とは同じ蓄積媒体に蓄積されていても、異なる蓄積媒体に蓄積されていても良く、両者に関連付けが行われていれば良い。

【0058】例えば、いずれか一方を通信により取得し、他方をCDによって取得することもできる。属性取得部3002が再生属性情報を取得し、課金料算出情報取得部3003が課金料算出情報を取得し、これを課金料算出部3004に渡して課金料の算出を行う点につい

ては、実施の形態9と同様である。

【0059】図31に示すのは、実施の形態10の再生装置3100を示すものである。この実施の形態12のその二で実施の形態12その一と異なる点は、課金料算出情報取得部3103が再生命令を受けてから一連の課金料の算出が行われる点である。再生装置3100が、再生部3101、属性取得部3102、課金料算出情報取得部3103、課金料算出部3104からなる点、および処理が開始されてからの手順は実施の形態12のその一と同じである。

【0060】次に図32、図33に示すのは実施の形態11に示すコンテンツ再生システムの再生装置を示す図である。図32に示すものと図33に示すものとの相違点は、図32に示すものが再生命令を受け付ける処理を必ずしも必要としないのに対し、図33に示すものは再生命令を受け付けた後に課金料算出の処理をする構成となっている点のみである。図32に示す再生装置3200も、図33に示す再生装置3300もともに再生部3201、3301、属性取得部3202、3302、課金料算出情報取得部3203、3303、課金料算出部3204、3304とからなっている。再生部3201、3301はコンテンツを取得して、これを再生し、属性取得部3202、3302は再生属性情報として再生装置3200、3300の属性情報を取得し、課金料算出情報取得部3203、3303は課金料算出情報を取得し、これらが取得した再生属性情報と課金料算出情報とを課金料算出部3204、3304に渡して、課金料の算出を行う。

【0061】(実施の形態13) 次に、実施の形態9から11に示すコンテンツ再生システムの蓄積媒体について説明する。この蓄積媒体は図34に示すもので、コンテンツ蓄積部3401と課金料蓄積部3402とからなり、コンテンツ蓄積部3401にはコンテンツが蓄積されており、課金料蓄積部3402には課金料算出情報が蓄積されている。課金料算出情報は、課金料を算出するためのただ一つの算出式などの算出情報を格納しているものであっても良いし、複数の算出式などの算出情報を格納していて、再生装置で適宜算出式を選択するような構成にするものであっても良い。またこれらの情報は、コンテンツ再生システムに当初から記憶されている情報であっても良いし、受信システムなどを通じて受信することでコンテンツ再生システムに取込まれ、蓄積媒体3400に記録されたものでも良い。受信システムなどを通じてコンテンツ再生システムに取込み、蓄積媒体3400に記録するようにすると、課金料算出情報を諸般の事情で変更したいときなどに便利である。

【0062】(実施の形態14) 次に、コンテンツを蓄積するコンテンツ蓄積部と、コンテンツを再生する場合の再生についての属性情報である再生属性情報に対する課金料を算出するための情報である課金料算出情報を蓄

積する課金料蓄積部とを有する蓄積媒体の再生方法について説明する。この発明は、図35に示すような処理をおこなう。まず、コンテンツの再生のための入力があるまで待機し（ステップS3501）、入力があると、コンテンツを再生し（ステップS3502）、ついで、再生属性情報を取得する（ステップS3503）。そして、課金料算出情報を取得し（ステップS3504）、取得した再生属性情報と課金料算出情報から課金料を算出する（ステップS3505）。これらの処理は必ずしも前述のコンテンツ再生装置の内部のみで行う必要はなく、受信システム、送信システム、その他の部分で行うことができる。

【0063】（実施の形態15）また、コンテンツを蓄積するコンテンツ蓄積部と、コンテンツを再生する場合の再生についての属性情報である再生属性情報に対する課金料を算出するための情報である課金料算出情報を蓄積する課金料蓄積部と、を有する蓄積媒体の再生をするための記録媒体であって、前記コンテンツ蓄積部に蓄積されているコンテンツを再生する手順と、再生属性情報を取得する手順と、前記課金料蓄積部に蓄積されている課金料算出情報を取得する手順と、再生属性情報を取得するステップにおいて取得した再生属性情報と課金料算出情報を取得するステップにおいて取得した課金料算出情報から課金料を算出する手順とを実行させるためのプログラムをコンピュータ読取可能に記録した記録媒体を利用すると便利である。

【0064】

【発明の効果】この発明によると、蓄積媒体にコンテンツのみならず、コンテンツを再生するための条件を定める再生条件を蓄積し、これをコンテンツ再生を行う再生装置において読み取り、再生の制御をするようにしたので、蓄積媒体に蓄積されたコンテンツを再生するか、しないかの制御を蓄積媒体に蓄積された情報に基づいて任意に行うことができる。また、蓄積媒体に課金料蓄積部を設け、課金料算出情報を蓄積して、コンテンツの再生を行う再生装置においてこれを読み取り課金料の算出に利用できるようにしたので、多様化するサービスに対する課金を多様化することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施の形態1のコンテンツ再生システムの機能ブロック図

【図2】コンテンツ再生システムを含むシステムの全体概念図

【図3】本発明のコンテンツ再生システムの利用形態を示す概念図

【図4】実施の形態1の属性取得部の機能ブロック図

【図5】蓄積媒体を異なるコンテンツ再生システム間で間て移し替えた場合を説明する図

【図6】蓄積媒体を異なるコンテンツ再生システム間で間て移し替えた場合を説明する図

【図7】実施の形態1のコンテンツ再生システムの機能ブロック図

【図8】実施の形態2のコンテンツ再生システムの機能ブロック図

【図9】本発明の処理の流れを示すフローチャート

【図10】実施の形態3のコンテンツ再生システムの機能ブロック図

【図11】再生装置識別子に含まれる情報の例を示す図

【図12】実施の形態4のコンテンツ再生システムの機能ブロック図

【図13】実施の形態5の再生装置の機能ブロック図

【図14】実施の形態5の再生装置の機能ブロック図

【図15】実施の形態5の再生装置の機能ブロック図

【図16】実施の形態5の再生装置の機能ブロック図

【図17】実施の形態6の蓄積媒体の機能ブロック図

【図18】実施の形態6の蓄積媒体の機能ブロック図

【図19】実施の形態6の蓄積媒体の機能ブロック図

【図20】本発明の処理の流れを示すフローチャート

【図21】本発明の処理の流れを示すフローチャート

【図22】実施の形態9のコンテンツ再生システムの機能ブロック図

【図23】再生属性情報を示す図

【図24】実施の形態9のコンテンツ再生システムの機能ブロック図

【図25】実施の形態10のコンテンツ再生システムの機能ブロック図

【図26】本発明の処理の流れを示すフローチャート

【図27】実施の形態11のコンテンツ再生システムの機能ブロック図

【図28】実施の形態11のコンテンツ再生システムの機能ブロック図

【図29】再生属性情報、再生装置の属性情報を示す図

【図30】実施の形態12の再生装置の機能ブロック図

【図31】実施の形態12の再生装置の機能ブロック図

【図32】実施の形態12の再生装置の機能ブロック図

【図33】実施の形態12の再生装置の機能ブロック図

【図34】実施の形態13の蓄積媒体の機能ブロック図

【図35】本発明の処理の流れを示すフローチャート

【符号の説明】

100 コンテンツ再生システム

101 蓄積媒体

102 再生装置

103 コンテンツ蓄積部

104 条件蓄積部

105 再生部

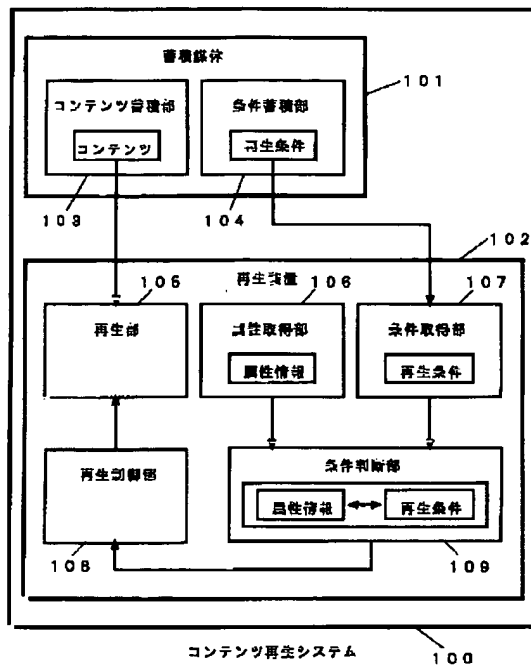
106 属性取得部

107 条件取得部

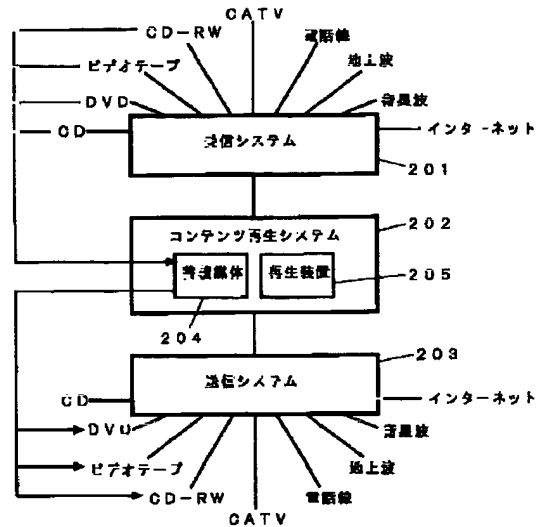
108 再生制御部

109 条件判断部

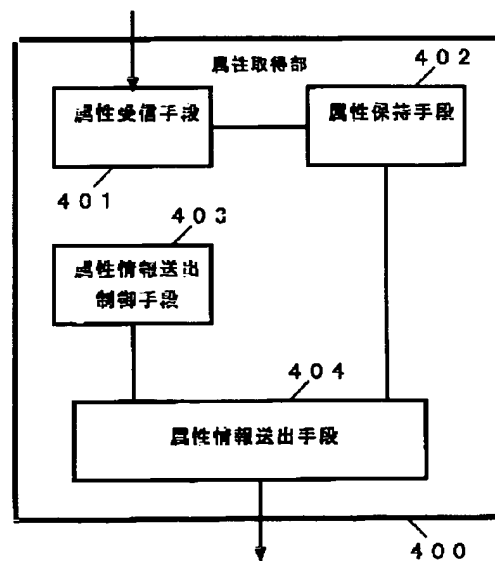
【図1】



【図2】



【図4】

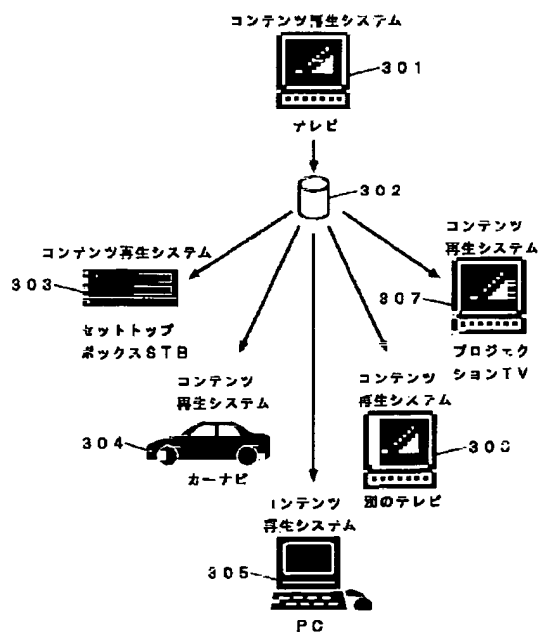


【図11】

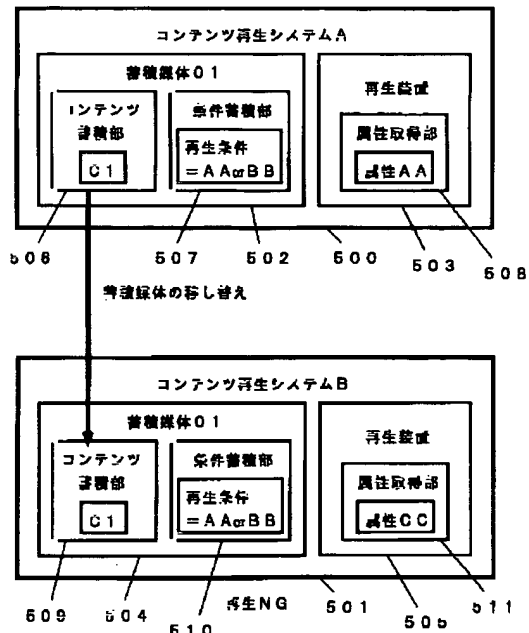
再生装置識別子に含まれる情報の例

再生装置を唯一に識別するID
所有者情報
通信プロトコル情報
再生装置の種類
再生装置の設置場所
再生装置の製造年月日

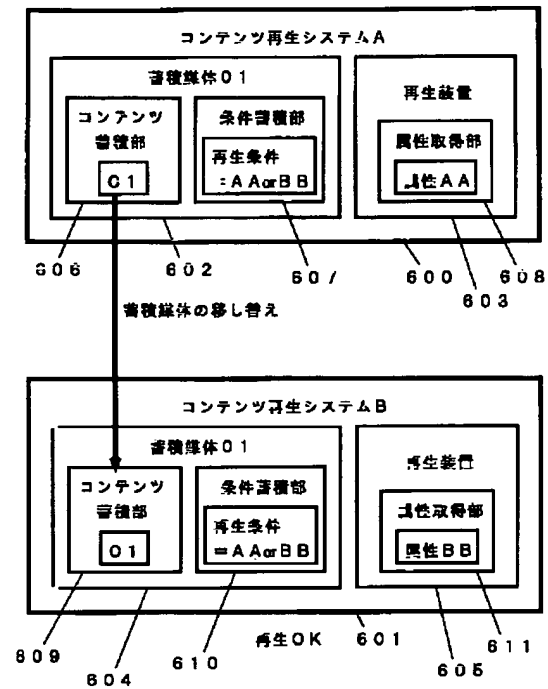
【図3】



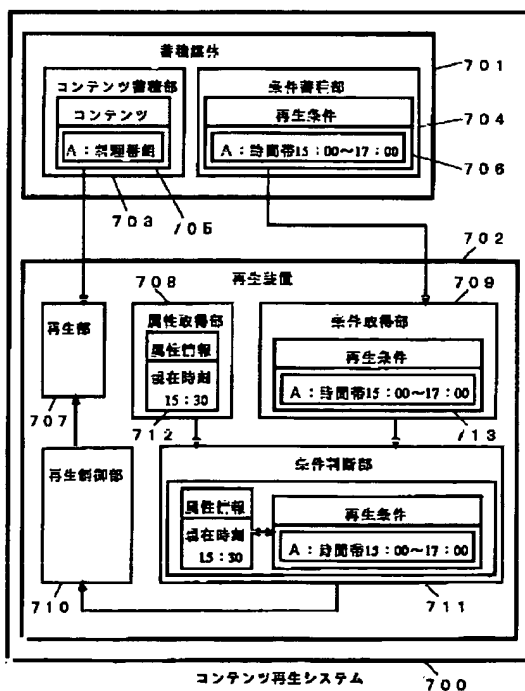
【図5】



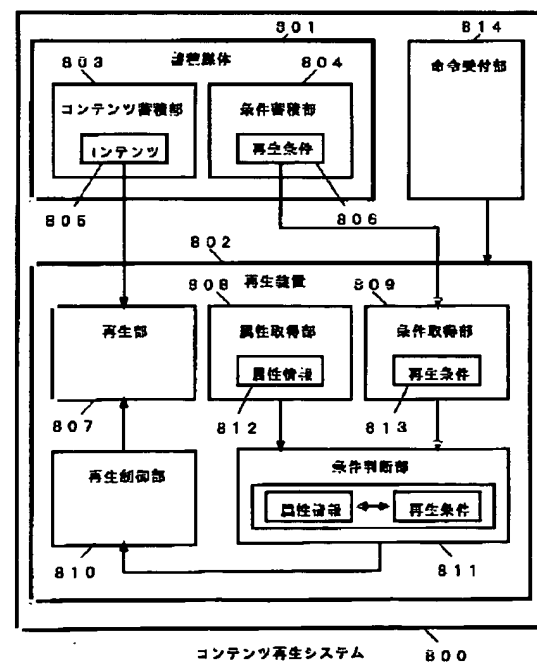
【図6】



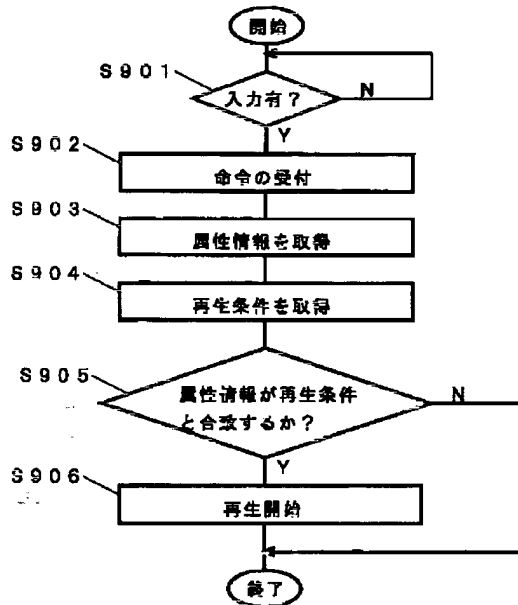
【図7】



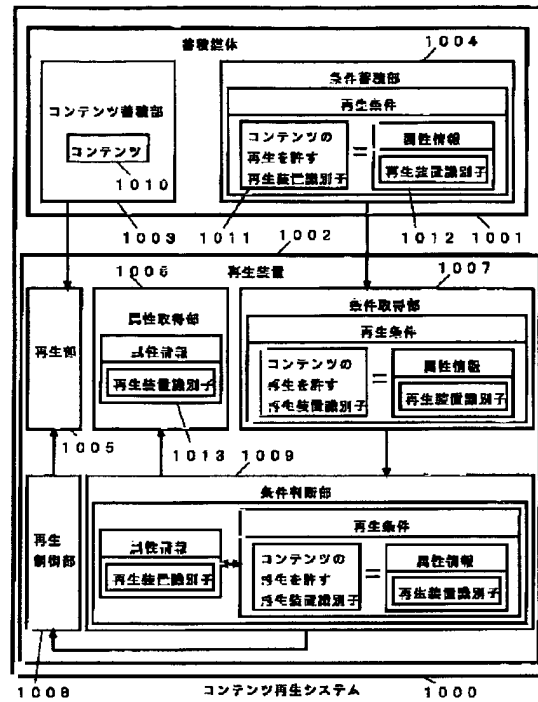
【図8】



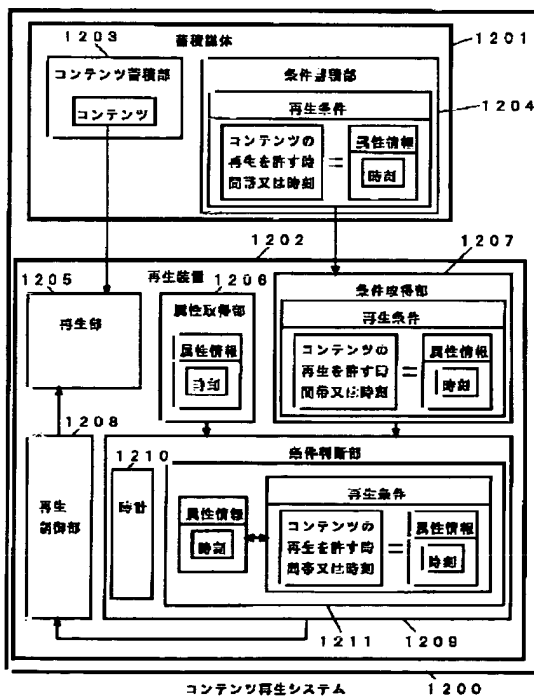
【図9】



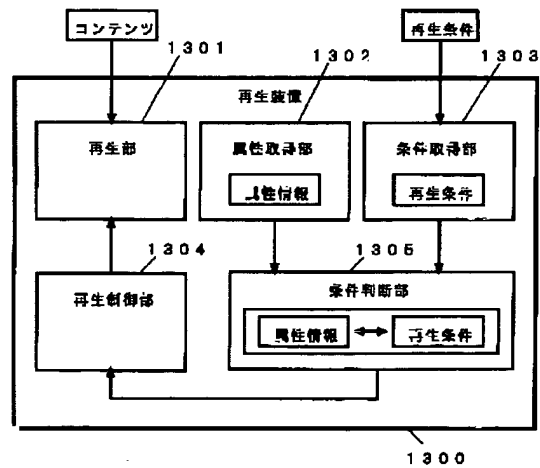
【図10】



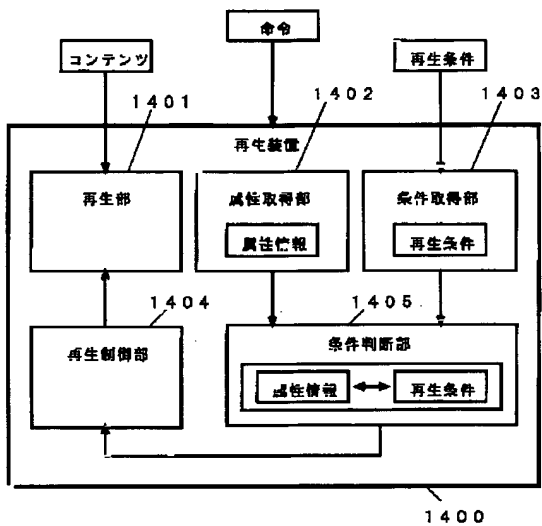
【図12】



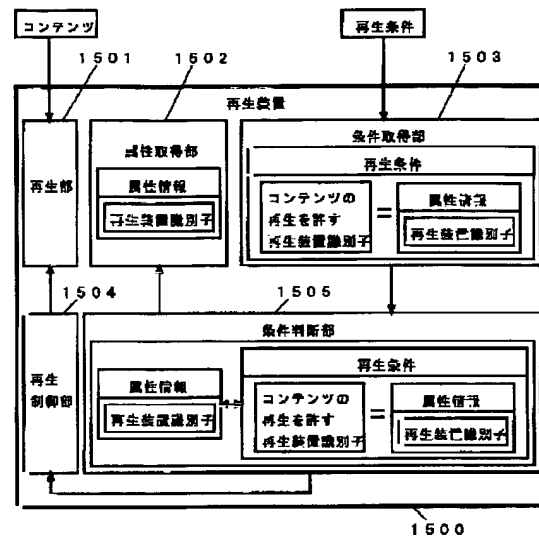
【図13】



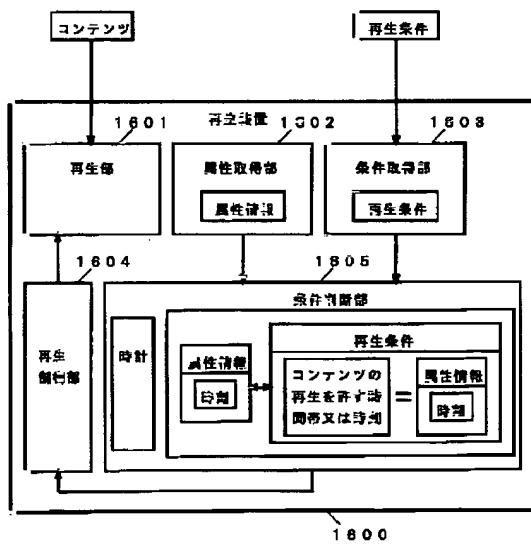
【図14】



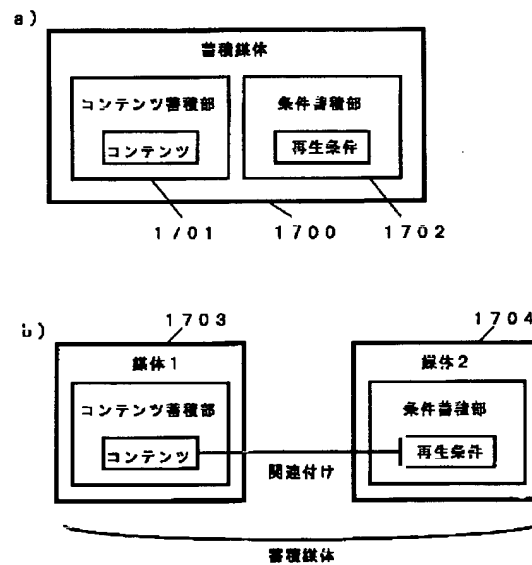
【図15】



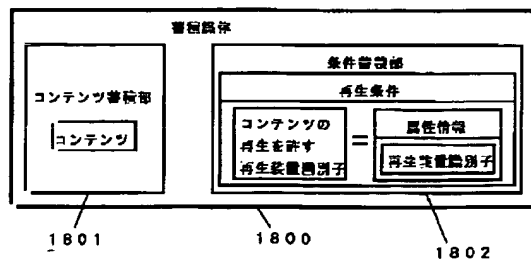
【図16】



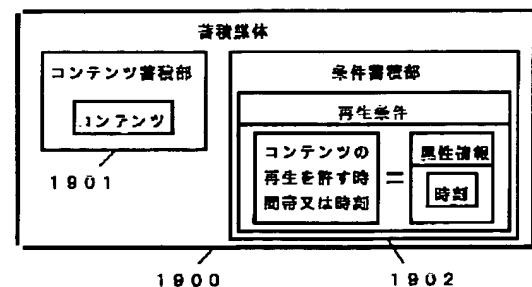
【図17】



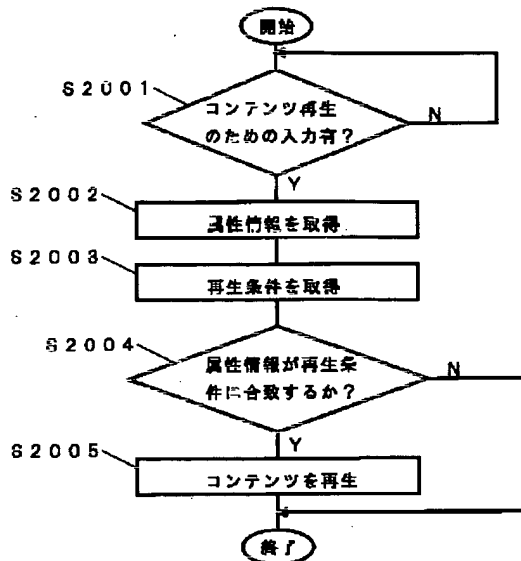
【図18】



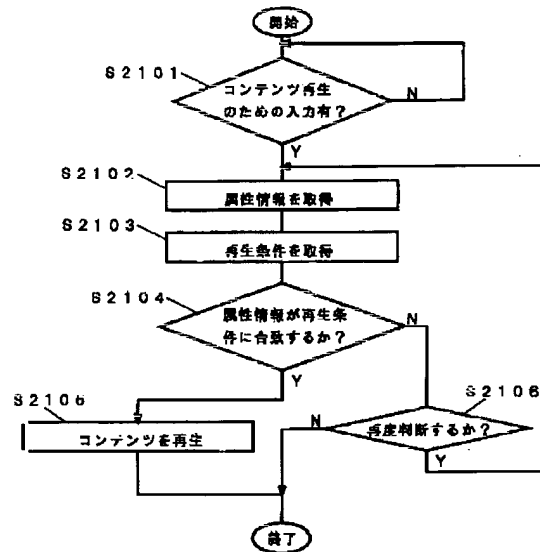
【図19】



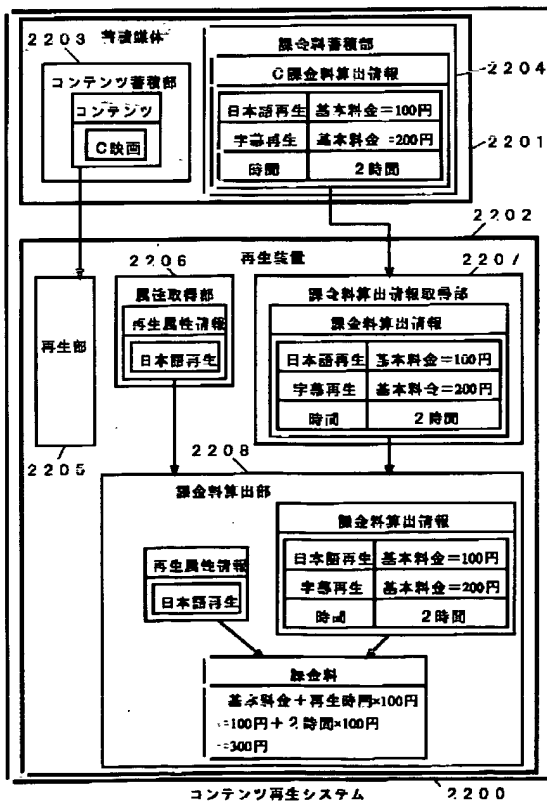
【図20】



【図21】



【図22】

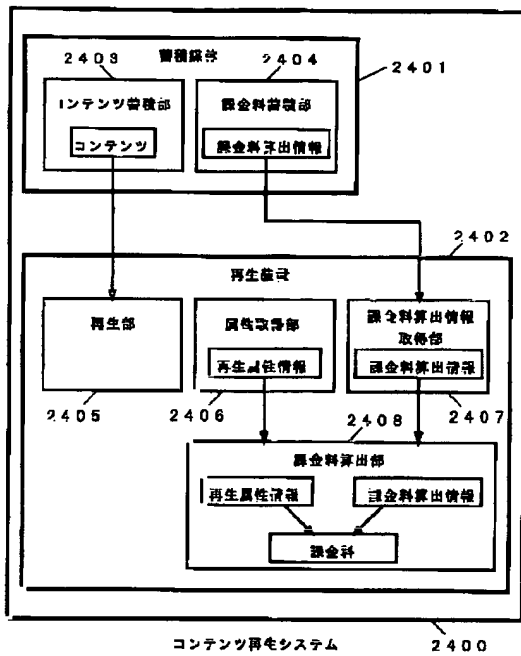


【図23】

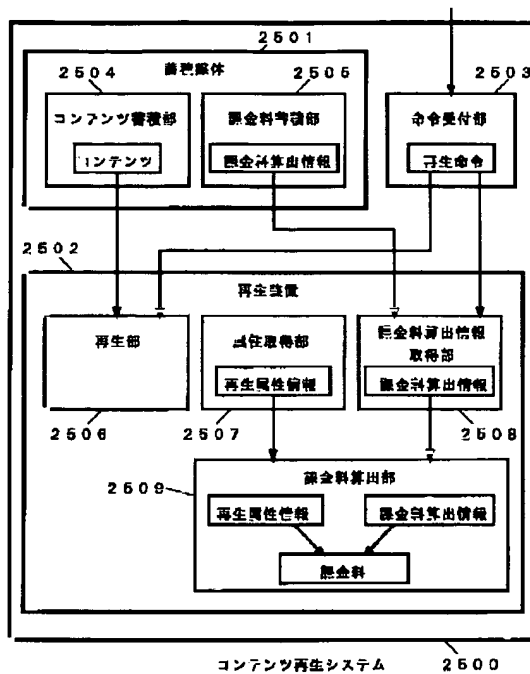
再生属性情報

再生装置別子	ユニークな識別番号 所有者の識別番号
再生装置の種類	デジタルテレビ、ハイビジョンテレビ、 プロジェクションテレビ、携帯テレビ、 カーナビゲーションテレビ、パソコンテレビ
時刻	再生開始時刻、再生終了時刻、 再生中断時刻、再生中止時刻
時間帯	早期 (5:00~6:00) 朝 (6:00~10:00) 昼 (10:00~15:00) 夕方 (15:00~18:00) ゴールデンタイム (18:00~21:00) 夜 (21:00~23:00) 深夜 (23:00~5:00)
画像再生方法	通常速度、スロー、倍速、 コマ送り、ステル、拡大、縮小
音声再生方法	原語、日本語、フランス語、英語、 ドイツ語、ロシア語、スペイン語、 ポルトガル語、中国語、字幕
付加機能	映像に現れた商品の解説 映像に現れた商品の購入手続 映像に現れた商品のホームページ移行 映像に現れた場所の解説 映像に現れた場所の旅行手続 映像に現れた場所のホームページ移行

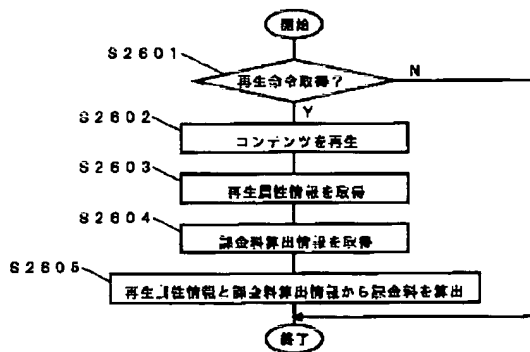
【図24】



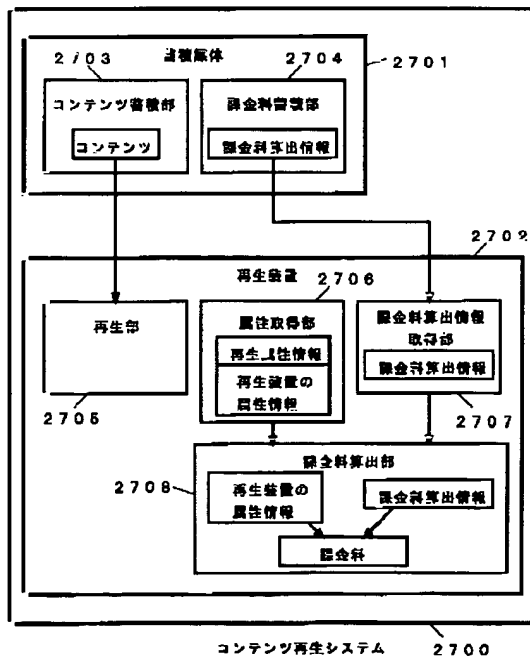
【図25】



【図26】



【図27】

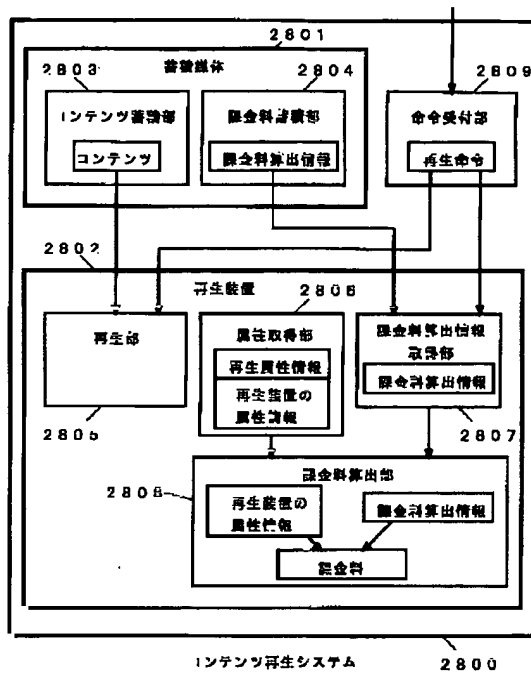


【図29】

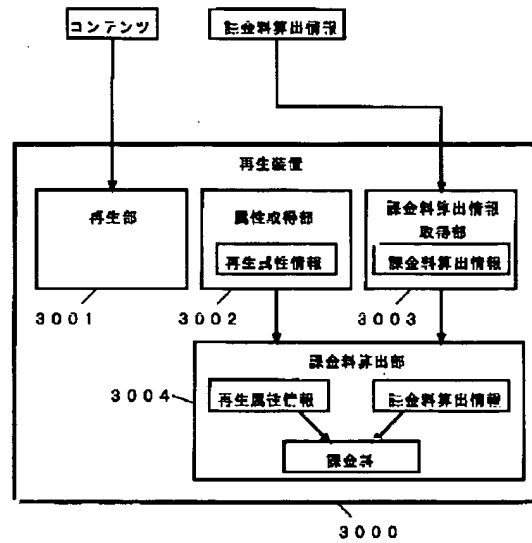
再生属性情報、再生装置の属性情報

形態	デジタルテレビ、ハイビジョンテレビ、 プロジェクションテレビ 携帯テレビ、携帯電話、カーナビゲーション用テレビ、 パソコンテレビ、PDA
画面サイズ	1～5インチ、5～15インチ 15～30インチ、30～インチ
設置場所	家庭内、飲食店内、公共施設 劇場、飛行機内、船内
機能	スロー再生機能有、1マ送り再生機能有 ステル再生機能有、拡大再生機能有 外国語再生機能有、字幕再生機能有 双方向通信機能有、早送り機能有

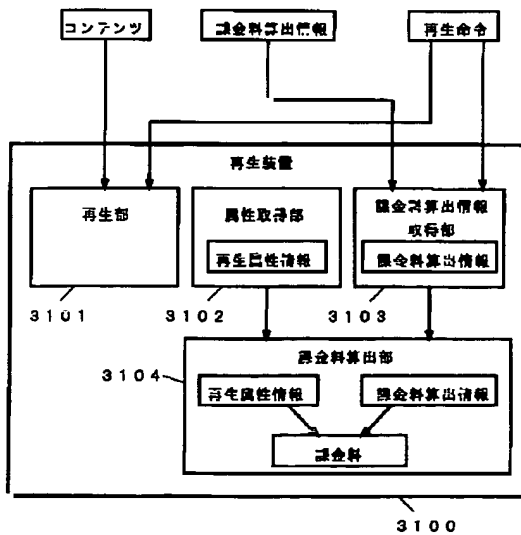
【図28】



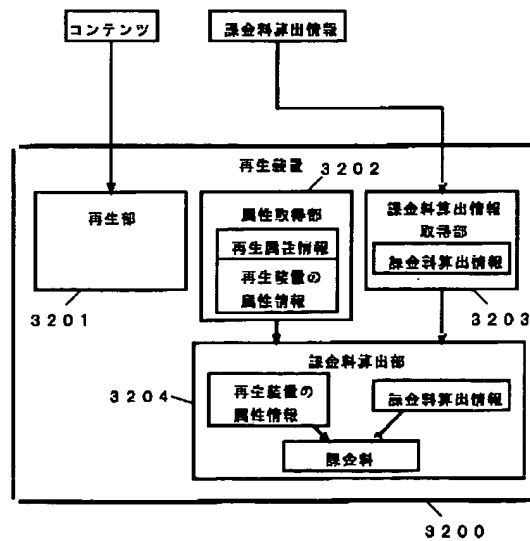
【図30】



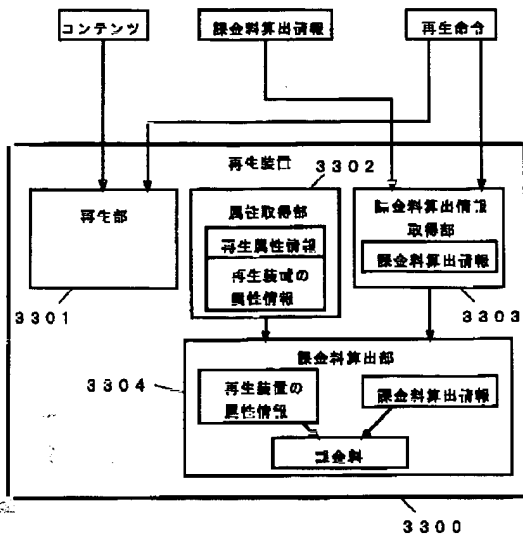
【図31】



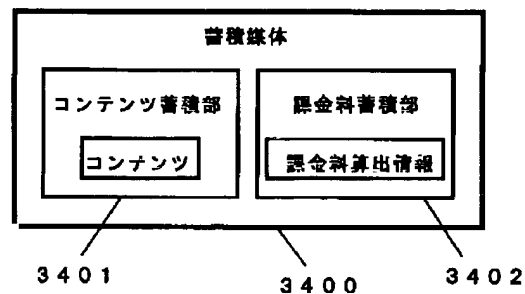
【図32】



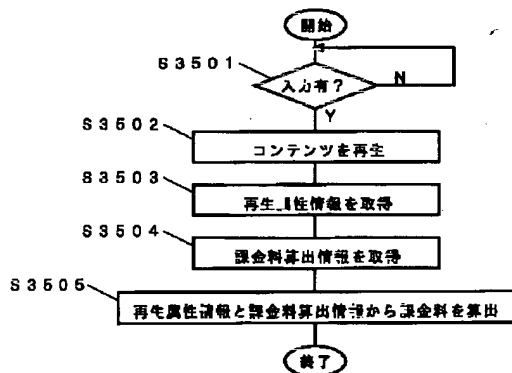
【図33】



【図34】



【図35】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷

識別記号

F I

(参考)

H 0 4 H 1/00

H 0 4 H 1/00

A

H 0 4 N 7/16

H 0 4 N 7/16

C

// H 0 4 N 5/76

5/76

Z

(72) 発明者 田中 義久

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 後藤 吉正

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 高野 哲太郎

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 戸田 和郎

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(20) 冊2002-99749 (P2002-99749A)

Fターム(参考) 5C052 AA01 DD04
5C064 BA07 BB01 BB02 BC01 BC06
BC20 BD04